中津ひがた子どもアカデミア 2019

annual report 2019

令和元年度報告

ワークショップ

ホバークラフト

水辺の生きもの展示

NPO法人 水辺に遊ぶ会

Nakatsu Waterfront Conservation Association

since 1999

活動レポート
Activity report 2019

新たな試みとして「中津ひがた子どもアカデミア」を開催しました。中津干潟アカデミアは、当会が接着剤となり中津干潟に集う人々を緩やかにつなげるものですが、今回は対象を子どもに絞り、科学教育の推進や地域アイデンティティの確立を目的としながら、楽しく地域の自然と理科を学べるよう工夫しました。運営者、参加者ともに好評で、来期以降も継続したいと考えます。また20周年記念講演、調査活動等も活発に行われました。

ビーチクリーン

アカニシ染めワークショップ

山国川オサカナ観察会

夏休みワークショップ

ベッコウトンボ保全活動

1．自然に関する理解を深めるための啓発活動

自然観察会：4回　参加者：135名

ベッコウトンボ観察会・アカテガニ観察会・山国川おサカナ観察会・ズグロカモメと冬鳥観察会（春の干潟観察会は悪天候のため中止）

その他主催行事：32回　参加者：815名

中津の海の絵コンテスト・ひがたらぼ夏休みワークショップ(15日)・JEAN海ごみ座談会・海ごみ調査ワークショップ・ひがたかふぇ

環境学習のサポート：38回　参加者：2,461名

中津市：北部小学校・南部小学校・豊田小学校・小楠小学校・如水小学校・今津小学校・沖代小学校・三郷小学校・津民小学校・県立工科短期大学

市　外：長峰小学校・天津小学校・三毛門小学校・吉富小学校・宇島小学校・宇佐北部中学校・日本文理大学

その他：中津市社会教育講座・中津市社会福祉協議会・日田市立博物館・香々地青少年の家、如水こども園、植野地区他

中津干潟子どもアカデミア　参加者：144名

中津干潟アカデミア第3回研究発表会　参加者：約200名

2．調査研究活動

主体調査：カブトガニ・シギチドリ類・ガンカモ類・ベントス・ベッコウトンボ・RDB見直し・アライグマ・漁場塩分濃度・地形他

調査研究への協力：下関水産大学校・日本文理大学・長崎大学・大分大学・群馬大学
日本トンボ学会、日本製鉄㈱、JEAN、環境省

3．海岸清掃他環境美化や廃棄物問題に関する活動

ビーチクリーン：大新田海岸3回　三百間海岸：中止　参加者585名

回収ゴミ：730kg（可燃・不燃570kg・粗大160kg）

対象区域：約60,000㎡×3回

松林再生：作業のべ23日　参加者：198名

他団体への指導：小楠小学校・県立工科短期大学

国土交通大臣表彰受賞

4．ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動

主催行事：帝王紫ワークショップ　参加者11名

5．自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信

会報誌「ガタガタ通信」1回発行

annual　report　2018　発行

HP管理運営

イベント出展：今津校区わいわいまつり・TOTOリモデルフェア（中止）

マスコミ対応　NHK、OAB、OBS、NOASFM、大分合同新聞、朝日新聞等

6．民間及び公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など

ベッコウトンボ生息池整備作業　参加者25名

台湾行政院環境保護署視察受入　参加者19名

五十石川等流域会議・舞手川河口侵食対策・ベッコウトンボ保全提言・環境省瀬戸内小委員会・各団体ヒアリング受入

7．持続可能な社会を追求するためのその他の事業

ひがたらぼ運営・商品販売（カブトガニサブレ・海苔）

会計レポート
Financial report 2019

前期に比べて大きな収入は見込めませんでしたが、事業支出額を低めに抑えられたこともあり、繰越金を出すことができました。会費収入および寄附金の一定の増額があったことや県知事表彰とカード会社の懸賞金などが合わせて10万円ほどあったことなども僅かですが影響しています。経営安定化のためには引き続き、自由度の高い会費や寄附金などの収入の確保と社会に認められる事業の展開を図っていきたいと考えます。

活動計算書 (2019.4.1～2020.3.31)

Ⅰ 経常収益	
1. 受取会費	**421,000**
2. 受取寄附金	**758,953**
3. 受取助成金等	**2,421,223**
4. 事業収益	**3,244,007**
①自然に関する理解を深めるための啓発活動	997,276
②調査研究活動	1,542,000
③海岸清掃ほか環境美化や廃棄物問題に関する活動	300,0000
④ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動	36,000
⑤自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信	0
⑥民間及び公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など	10,000
⑦持続可能な社会を追究するためのその他の事業	358,731
5. その他収益（受取利息・雑収入）	**99,011**
経常収益計	**6,944,194**
Ⅱ 経常費用	
1. 事業費	**5,760,854**
①自然に関する理解を深めるための啓発活動	2,423,710
②調査研究活動	1,949,873
③海岸清掃ほか環境美化や廃棄物問題に関する活動	534,473
④ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動	184,931
⑤自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信	16,432
⑥民間及び公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など	132,681
⑦持続可能な社会を追究するためのその他の事業	518,754
2. 管理費	**1,075,525**
（1）人件費	416,198
（2）その他費用	659,327
経常費用計	**6,836,378**
Ⅲ 経常外収益	
過年度損益修正益（前年度収益）	9,620
経常外費用計	**9,620**
Ⅳ 経常外費用	
過年度損益修正損（前年度損失）	5,726
経常外費用計	**5,726**
税引き前当期正味財産増減額	111,710
法人税、住民税及び事業税	71,000
当期正味財産増減額	**40,710**
前期繰越正味財産額	**2,800,521**
次期繰越正味財産額	**2,841,231**

貸借対照表 (2020.3.31現在)

Ⅰ 資産の部	
1 流動資産	**3,222,417**
現金預金	2,094,261
未収金	796,094
前払金	254,770
棚卸資産	77,292
2 固定資産	**0**
資産合計	**3,222,417**
Ⅱ 負債の部	
1 流動負債	**381,186**
短期借入金	0
未払金	76,395
前受金	199,500
預り金	34,291
法人税等未払金	71,000
2 固定負債	**0**
負債合計	**381,186**
Ⅲ 正味財産の部	
前期繰越正味財産	**2,800,521**
当期正味財産増加額	**40,710**
正味財産合計	**2,841,231**

補助金・助成金一覧

TOTO水環境基金	**950,000**
SAVE JPAN PROJECT	**715,000**
大分県森と海をつなぐ環境保全推進事業	**300,000**
大分県希少野生動植物保全事業	**496,000**

業務委託一覧

中津市環境調査委託	**1,452,000**
国土交通省河川協力団体委託	**814,376**

寄　付

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	**300,000**

（単位：円）

TOTO水環境基金 (2019)

「中津干潟アカデミア」「海の絵コンテスト」etc.

３年にわたる助成期間が終わりました。その間、主に子ども達向けの様々な事業が展開できました。夏休みのワークショップ、中津ひがた子どもアカデミア、研究発表会などは皆様から高い評価をいただいています。海の絵コンテストは、800点を超える応募があり、これは中津市内小学生の2割余りに相当します。様々な絵画コンテストがあるなかで、この結果は頭一つ抜け出しているとの評価を得ています。中津干潟の環境について考えてもらい、地域アイデンティティの醸成にも役立っていると考えます。ありがとうございました。

大分県 希少野生動植物保全事業 (2019)

「ベッコウトンボ保全作業・広報活動」

2019年初頭までに大規模な環境改変が、種の保存法適用種であるベッコウトンボが生息する野依新池で行われました。結果、広報活動、保全作業等がこれまで以上に必要となることから、この事業を利用させていただきました。中津市内の周知度は比較的高く、イベントでも多くの方々が既にご存知であることも多かったです。しかしながら、個別重要な部分で必ずしも結果を出せていないもどかしさも同時に感じされられています。この壁をいかに乗り越えて行くかが保全活動の今後の課題であると考えます。

これから成すべき事

会の活動は21年目を迎えました。そして、人々が気軽に集える拠点「中津ネイチャーセンター　ひがたらぼ」を中津市東浜の地に構えて5年目となります。

それまでは、理事長宅や小祝に物置として借りていた民家、通称「小祝研究所」に集うのが精一杯で、一般の方がふらりと立ち寄れるような拠点は持っていませんでした。

今「ひがたらぼ」には、関係者を含めると年間1,000人を超える人々が訪れるようになっています。HPのリニューアルとあいまって、新規のお客様も増えました。国内外、官民からの視察や中津の干潟や水環境の観察等の問い合わせ、マスコミの皆さんの対応なども気軽に行えるようになりました。

そして、生きものに関心を持つ子ども達も数多く来てくれるようになりました。進路に悩む若者や学生も時々やって来ます。小さいながらも学校教育とは異なった誰でも自由に学べる「博物館教育」の体制を整えておきたいと「小さな干潟の博物館」の名前を掲げてコツコツ取り組んでもいます。まぁ文字通りに何でもご相談にのりますよ、というのが私たちの考えです。

博物館的なものとしては、小さな子どもでも楽しめる簡単なワークショップから研究者にも対応できるプログラムまでいろいろと引き出しを作っている最中です。ミッションに照らしながら、皆さんが何を求めているのかを常に念頭に置いて運営しています。

ところで、大分県内には、自然科学系の大学、博物館がほとんどありません。自治体レベルでは日田市のものがある程度でしょうか。

私たちもなるべく早い時期に、そのようなものになりたいと考えています。既存の枠組みにとらわれず、中津干潟を中心に、自然科学の楽しさと重要性をいっしょに学びながら、片方で漁師さんの経済相談なんかにも対応できる、オールラウンダーのネイチャーセンターを目指したいと考えています。

干潟観察会用トイレ

会発足当初から、中津干潟観察会を実施してきました。年間事業の中で、結構大きい位置を占めているのが、市内の小学校の干潟観察会です。毎年2,000人ほどの参加があります。

これだけ人が集まれば、当然トイレの問題が出てきます。最初の頃、レンタルトイレを利用させてもらったりしていました。6年程前には、TOTO水環境基金の助成金を利用させていただき、野外トイレを購入しました。そして、観察会集合地点から100mほどのところにある工場、太陽インダストリー㈱のご協力で敷地内に水道とトイレを設置させていただきました。

これは大変助かったのですが、やはり少々海から遠いということもあって、近年は、大人数の観察会の時は中津市のご協力で簡易トイレを設置していただいていたところです。

今年度、より海に近い工場敷地内の市有地を、草刈りなどの管理を条件に無償でお借りする事ができるようになりました。ここにトイレを移設する予定です。借地には水道が来ているのですが、接続工事が必要です。今期はこの工事費を集めたいと考えています。

費用は40万円程度と見積もっております。補助金や助成金などの資金源を探すことはもちろんですが、会員皆様のご協力をお願いしたいと思います。

NPO法人 水辺に遊ぶ会

〒871-0024 大分県中津市中央町2-8-35
TEL･FAX 0979-77-4396（ひがたらぼ）
E-mail：info@mizubeniasobukai.org
URL：http://mizubeniasobukai.org/

中津ネイチャーセンター
ひがたらぼ

〒871-0006
大分県中津市東浜1151-4
TEL・FAX 0979-77-4396
開館時間 10:00～16:00
休館日 土日祝日

水辺に遊ぶ会の活動は皆様の会費・ご寄付によって支えられています。ご支援ご協力お願いいたします。

●カブトガニコース（一般会員）

・**年会費　1,500 円**

年４回発行の「ガタガタ通信」と「行事案内」をお届けします。

●ズグロカモメコース（サポーター会員）

・**1 口　10,000 円　特典付**

「ガタガタ通信」「行事案内」に加え、年度末に中津干潟の産物や関連グッズなどのプレゼントをお届けします。

【ゆうちょ銀行もしくは　郵便局でお手続きの場合】

振替口座：01760－0－134110
名　　義：NPO 法人 水辺に遊ぶ会

お名前・ご住所・電話番号・E-mail 等を明記の上、お振り込みをお願いします。